

## 教師力向上支援事業派遣研修報告書

- 1 所属・職・氏名 富山県立雄峰高等学校・教諭・石崎 康弘
- 2 研修期間 令和6年7月25日(木)・26日(金) 2日間
- 3 調査研究課題 企業人との交流により、社会への知見を広げ、企業が求める人材観、育成システム等についての見識にふれる
- 4 研修機関等 株式会社インテック大山研修センター
- 5 研修の概要

### (1) 講演①「人間力について考えよう！」

株式会社MGG 代表取締役社長 牧田 和樹 氏

企業経営では理念や方針が大切とされるが、具体的に人を動かす「仕組みづくり」と、「説得」ではなく「納得」させて人を動かすことが肝要である。人を「納得」させるには、自己の「人間性」と「能力」を磨くとともに、相手に応じた「情緒」的なコミュニケーションや「論理」の力を身に付けていくことが大切であると感じた。

### (2) 講演②「自分らしく働く」

YKK株式会社 黒部事業所長 小林 聖子 氏

長いキャリアの中、紆余曲折あるのは当然であるが、「何があったとしても良かった」と言えるポジティブ思考と、チャンスや偶然を活かすための日頃の準備の大切さについて考えさせられた。また、氏が語られた「(氏の) 上司が部下に厳しく接しつつも水面下で部下のために懸命に動いてくれていた」というエピソードから、上司のあり方についても考えさせられ、感銘を受けた。

### (3) 講演③「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。」

株式会社ユーグレナ 代表取締役社長 出雲 充 氏

バングラデシュにあるグラミン銀行での体験とムハマド・ユヌス氏との出会いが、出雲氏に「ミドリムシで世界を救う」という使命を見出させることになった。氏が「子どもたちを居心地の良いコンフォートゾーンからあえて抜け出させ、母国語が通じないような環境に飛び込ませることが、本当の使命を見出させるきっかけとなる」と語られたことが印象的であった。また、氏にとってのムハマド・ユヌス氏のような心から尊敬できる「メンター」の存在と、倒れそうになった時に自分を奮い立たせる「アンカー」を持つことの大切さについて考えさせられた。

### (4) アクティビティ研修(7人グループ)

#### ① グランドルールの設定

グループ全員で徹底的に話し合い、アクティビティ研修を通じて、グループの一体感を高めるためのルールづくりを行った。私たちの班では、「発表や目標達成時にはグータッチをする」とした。

#### ② ヘリウムリング

グループ7人が輪になり、1つのフラフープを利き手の人指し指1本に乗せ、誰一人指を離すことなく地面に置くアクティビティ。制限時間内であれば何度もトライでき、最も速くできたタイムを競う。チームの課題を自ら発見、協議、実践するというサイクルを回し、少しずつタイムを縮めることに成功した。

#### ③ TPシャッフル

激流上に見立てられた丸太上の1列で、落ちることなく各指令に応じて並び順を替えるアクティビティ。私たちの班は構成員の身体的適性の把握とその対策などに時間がかかり、制限時間内にクリアすることが出来なかった。時間配分や個人の適性把握の大切さを考えさせられた。

#### ④ ブラインドテント

「制限時間内に4つのテントを完成させる」、「テントにさわられる人は、目隠しをしなければならない」等の指示が出された。私たちは指示に暗示されていた、「グループの垣根を越えた」協力がルール上許容されていることに気づき、他グループと協力してテントを立てる

ことができた。

(5) 研修のまとめ

この2日間の研修での気づきや学びをベースに、「人が育まれるために必要なこと」をテーマに話し合った。私たちのグループでは、自分とは異なる「他」（他者、周囲の環境）との交流から、自己の「ミッション」を見出し、「感動」を原動力として、そのミッションを乗り越えていく、その過程で人が育まれる、とまとめた。

(6) 本研修を通して

本研修では、著名な企業人による3講演を聴講し、組織経営や組織開発、人材育成、社内研修など、多岐にわたる話題で、企業の皆さまとのディスカッションを行った。また、アクティビティ研修では、与えられたプロジェクトを成功に導くために、チームで自ら課題を発見し、協議し、実践するサイクルを回すことの大切さを、チームの一体感を感じながら、体験的に学ばせていただくことができた。

理論と実践の両面にわたる2日間の研修により、学校経営や学級経営、校内研修などにも援用できる企業経営的な視点にふれることで、教師が経営的な視点をもって、学校や学年、クラス、校務分掌等に取り組むことの大切さについて気づかされた。また、教師自身が社会に開かれ、異なる業種や世代、地域の方々と交流し、郷土の自然や歴史、文化といった地域資源などに対する知見を広げることが大切であると感じさせられた。

最後に、今回の研修にあたり、派遣研修の機会をいただいた富山県教育委員会をはじめ、貴重な学びの場を提供して下さった富山経済同友会の皆様に、心より感謝申し上げます。